

Grid World グリッドの旬

Grid World 2006

2006年
5月11日 → **12日**
 東京国際フォーラム

【主催】 グリッド協議会  株式会社 IDGジャパン  IDG

【後援】 独立行政法人産業技術総合研究所 グリッド研究センター

Platinum Sponsors

















Gold Sponsors Special Lunch Session Sponsors












Grid World グリッドの旬

Grid World 2006

Joint closing panel Grid World & GGF

- Panelist for Grid World 2006
 - ▶ Kento Aida (Titech)
合田 憲人 東京工業大学
 - ▶ Hideaki Tazaki (Fujitsu)
田崎 英明 富士通株式会社
 - ▶ Shinichi Mineo (Riken)
峯尾 真一 理化学研究所
 - ▶ Katsuya Nishi (Grid Research Inc)
西 克也 株式会社グリッド総合研究所
- Cordinator
 - ▶ Satoshi Sekiguchi (AI ST)
関口 智嗣 産業技術総合研究所

Grid World 2006

Grid World 2006

パネリストが見つけた「グリッドの旬」 (Closing remarks on the main theme “Grid is NOW in season”)

- 市場からみて (Market point of view)
- 技術からみて (Technology point of view)
- 社会からみて (Social issues)

旬なグリッドがお届けするためには...



「塩トマト」
肥後銀行様ご提供

Grid World 2006


Grid World 2006

ビジネスサイドから見たグリッドの旬



GRI
Grid Research Inc.


株式会社グリッド総合研究所
西 克 也



何故旬がないのか？

- 技術側と利用側の乖離
 - ▶ 技術側：実質サービスがない、勝手な判断！？
 - ▶ グリッドの領域は広がっている
 - ▶ 利用側：何をグリッドできるのかわからない
 - ▶ グリッドは怖い、難しい、でも使えそう？
- でも話す場、機会がでてきた

「話す場ができたこと」それが旬



グリッドの「旬」

合田 憲人 東京工業大学

Grid World 2006

グリッド技術の旬? Grid is now in season?

- 研究者 / 技術者の視点 (developers/researchers)
 - ▶ 個々の技術は進んだ . どう連携させるか ?
How do we coordinate?
 - ▶ インフラの整備
Grid infrastructures
- ユーザの視点 (users)
 - ▶ 様々な使い方が見えてきた .
many applications
 - ▶ グリッドって何 ? どうしたら使える ?
What is the Grid? How can we use?

グリッドは誰のもの ?

Grid World 2006


専門家のグリッドからみんなのグリッドへ Grid for everybody

- 要素技術の連携 (coordination)
 - ▶ 技術の体系化 , 標準化 (standardization)
 - OGSA, Web service, ...
 - ▶ ミドルウェアの開発 (middleware)
- 実験インフラから実用インフラへ (production grid)
 - ▶ 運用技術の確立 (operation)
 - production grid, grid operation center
 - ▶ 異なるグリッド間の連携 (interoperability)
- 普及活動 (dissemination)



グリッドの旬

2006.5.12
理化学研究所
峯尾真一



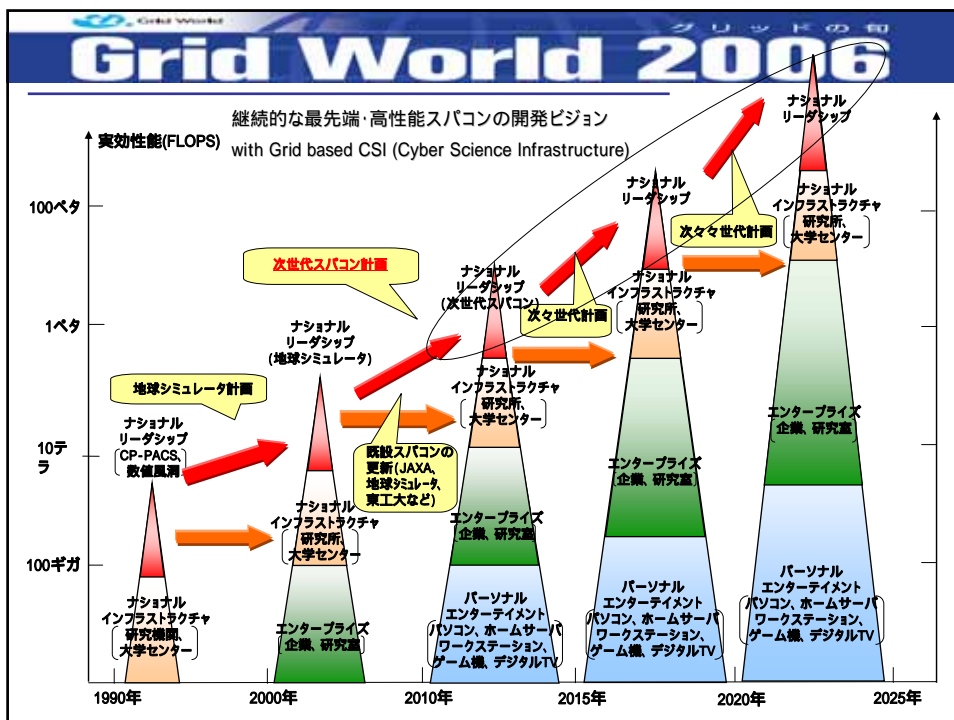
Grid Today in Technology

- 'vertical'
 - ▶ Vertical use case/profile
- 'alternative'
 - ▶ Grid architecture/commercial products
- 'innovation'
 - ▶ By technology = Grid

Grid World 2006

Grid Today in Social System

- 3709
 - ▶ 3709人:Grid World 2006への登録者数
- 53
 - ▶ 53%:ビジネスグリッドが適用できる / 採用検討中のJUAS会員
- 65 vs. 67.8
 - ▶ 65%:イノベーションが必要と答えたCEOの比率
 - ▶ 67.8%:部門内最適化企業群の比率

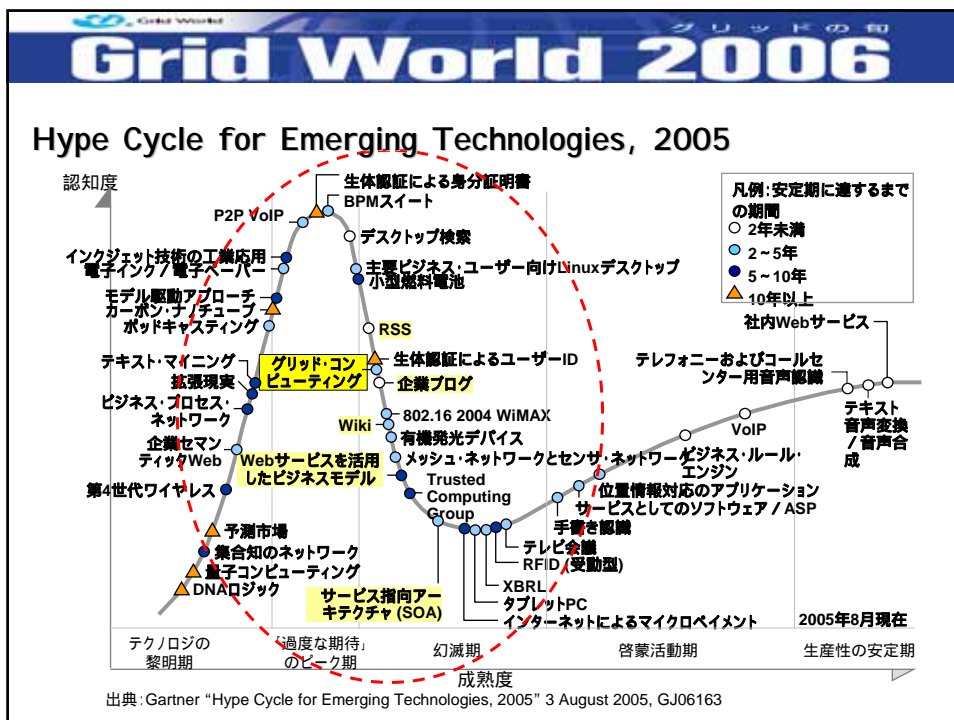


Grid World 2006

グリッドの「旬」

2005/05/12
 富士通株式会社
 田崎 英明

あんまり季節感がないから...



Grid World 2006

グリッドの「旬」

マーケット面からみると

GartnerのHypeカーブでは、
「過度な期待」のピーク期を過ぎて、幻滅期へ

むしろ、単なる流行語から地道なビジネスよりの技術に
近付きつつあるのでは

グリッドのテクノロジーは「拡散と浸透」へ

ベンダが期待したほどのスピードではないが、
システム構築のための技術要素になりきれていないため

OGSAの描く理想像からすれば、業務をサービス指向で
構築するのはこれから(SOAの時代)

ソーシャルシステムという切り口では

SOAの時代になれば、いろんなシステムが社会システム
の様相を呈する 止められないシステム

Grid World 2006

今回の講演・展示から

ユーザ企業での実践例が講演でいくつか紹介された
話を聞く側でもベンダの話よりも興味をもてたのでは？

例えば、中部電力様のPCグリッド実践
余剰資源(PCで90%くらい余っている感じ)
PCはリース切れで勝手に増えていく(平均2~3倍/年)
並列化できるアプリが増えれば企業内でも使い道は多い

他にも、初日の肥後銀行様の事例など

総括

グリッドコンピューティングという言葉でイメージされる理想像
とはまだ距離がある

しかし、グリッドのテクノロジーは着実に浸透

むしろ、グリッドは利用者からみればグリッドのテクノロジーが
目立たずに意識されなくなってからが「旬」なのかもしれない

来年も同じ話をしないように…